

気候情報

2023年12月の日本の天候

- 全国的に気温の変動が大きく、寒気が流れ込んだ時期には大雪となった所があった
- 降水量は、東日本日本海側と沖縄・奄美で多く、北・東日本太平洋側と北・西日本日本海側では少なかった
- 日照時間は、東・西日本太平洋側で多く、沖縄・奄美では少なかった

12月の天気概況

上旬後半から中旬前半にかけて寒気の流れ込みが顕著に弱かった一方、中旬後半から下旬前半にかけて冬型の気圧配置に伴って大陸から強い寒気が流れ込んだため、西日本を中心に全国的に気温の変動が大きかった。寒気が流れ込んだ時期には北・東・西日本日本海側で大雪となった所があった。沖縄・奄美では、上旬と下旬に低気圧や寒気の影響を受けやすかった。

上旬：全国的に天気は数日の周期で変わり、本州付近は高気圧に覆われる日が多かった。後半は日本の北を低気圧が通過して暖かい空気が流れ込んだ日もあった。

旬平均気温は、北日本で高かった。東・西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北・西日本日本海側と東日本太平洋側でかなり少なく、北・西日本太平洋側と東日本日本海側で少なかった。一方、沖縄・奄美で多かった。

旬間日照時間は、北・東・西日本太平洋側でかなり多く、北・東・西日本日本海側で多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

中旬：本州付近を中心に、16日頃までは前線を伴った低気圧が繰り返して通過したため曇りや雨または雪の日が多かった。一方、17日頃からは冬型の気圧配置が強まったため、北・東日本日本海側を中心に大雪となった所もあった。沖縄・奄美では、期間の前半は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、期間の後半は気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美でかなり高かった。北日本では平年並だった。

旬降水量は、西日本日本海側と西日本太平洋側でかなり多く、北・東日本日本海側と北・東日本太平洋側で多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側でかなり少なかった。東日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

下旬：期間の前半は、冬型の気圧配置に伴って強い寒気が流れ込んだため、全国的に気温が低く、北・東・西日本日本海側で大雪となった所があった。期間の後半は、冬型の気圧配置が緩み、北・東日本太平洋側を中心に高気圧に覆われて晴れて気温の高い日が多かった。

旬平均気温は、北・西日本で低かった。東日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、東日本日本海側でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。一方、西日本日本海側と北・西日本

太平洋側で少なかった。北日本日本海側と東日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、北・東日本太平洋側でかなり多く、東・西日本日本海側と西日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美でかなり少なかった。北日本日本海側では平年並だった。

12月の気候統計

月平均気温：東日本でかなり高く、北・西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：東日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。一方、北・東日本太平洋側と北・西日本日本海側で少なかった。西日本太平洋側では平年並だった。

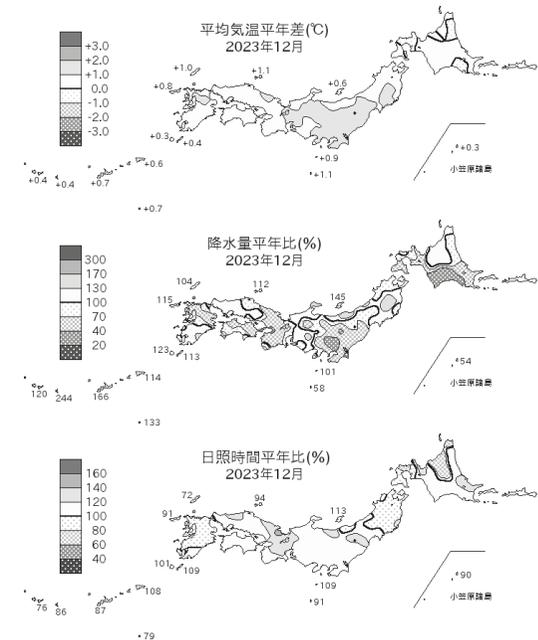
月間日照時間：東・西日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美で少なかった。北・東・西日本日本海側と北日本太平洋側では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

—— 12月の記録 (1位更新のみ、タイ記録含む) ——

- ・月平均気温の高い方から (°C)
横浜 (神奈川県) など2地点
- ・月間日照時間の多い方から (h)
上野 (三重県) 189.0など4地点
- ・月最深積雪の大きい方から (cm)
輪島 (石川県) 60

2023年12月の平年差 (比) 図



お知らせ

気候情報の「日本の天候」は、今号の2023年12月分をもって掲載を終了します。2024年1月分以降は、より詳細な情報をいち早く掲載している気象庁ホームページ「年・季節・各月の天候」をご利用ください。

https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/tenkou_index.html